

ヤンマー

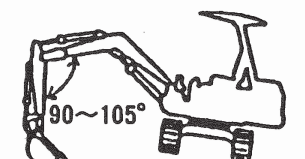
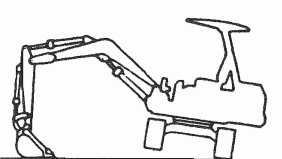
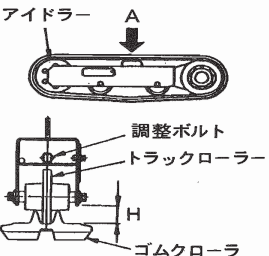
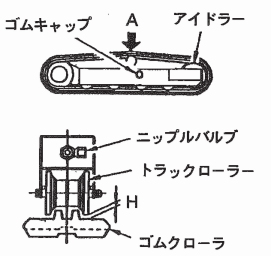
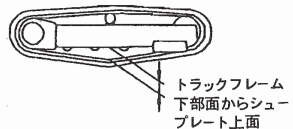
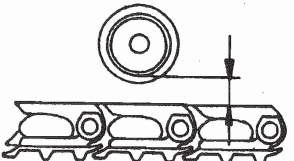
適用範囲		モデル名	Vio27-5B	Vio30-5B	Vio30-6	Vio35-5B	Vio35-6
		適用号機	53316～	53607～	60501～	57001～	60501～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度					
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2325～2375	2590～2650	2220～2240	2425～2475
		ローアイドルリング	min ⁻¹	1125～1175	1125～1175	1140～1160	1125～1175
		(冷却水温)	(°C)	(60以上)	(60以上)	(60以上)	(60以上)
		(作動油温)	(°C)	(50～60)	(50～60)	(50～60)	(50～60)
		弁すき間					
		吸気弁 スキ間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
		排気弁 スキ間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
		(測定条件)	(°C)	(常温)	(常温)	(常温)	(常温)
		圧縮圧力	MPa	3.16	3.16	3.4	3.4
燃料装置	燃料噴射ノズルの燃料噴射開始圧力		kgf/cm ²	31 (40～50) (250)	31 (40～50) (250)	35 (40～50) (250)	35 (40～50) (250)
		(エンジン油温) (回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	(250)	(250)	(250)	(250)
	燃 料 装 置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa	19.6～20.6	18.6～20.6	19.6～20.6	19.6～20.6
			kgf/cm ²	200～210	190～210	200～210	200～210
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10～15	10～15	10～15	10～15
		[測定位置・条件] [押え荷重]		駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	ファンプーリ～ ジェネレータプーリ 98N(10kgf)	駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)
	走 行 性 能	最高速度	S	10.3	10.4	12.7	10.3
		[測定方法・条件] (図面番号表示)		(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)	(図 No. 1-1)
	履 帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り (たわみ量)	8～13 クローラフ レーム中央	8～13 クローラフ レーム中央	8～13 クローラフ レーム中央	8～13 クローラフ レーム中央
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)	(図 No. 2-2)
		鉄	張り (たわみ量)	105～115 クローラフ レーム中央	105～115 クローラフ レーム中央	105～115 クローラフ レーム中央	105～115 クローラフ レーム中央
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)	(図 No. 2-3)
走行装置	シ	リンクピッチの伸び	mm	103	103	103	103
		[測定方法・条件]		1 リンク	1 リンク	1 リンク	1 リンク
	ユ						
	ー	履板取付けボルト締付けトルク	N・m	147～196	147～196	147～196	147～196
		[測定方法・条件]	kgf・m	15～20 —	15～20 —	15～20 —	15～20 —

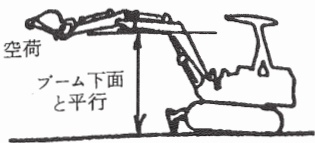
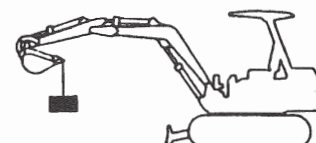
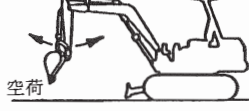
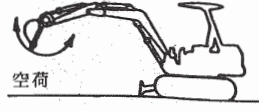
Vio40-5B	Vio50-5B	Vio70-3A						
57001～	57001～	36001～						
検査基準値								
2600±25 1150±25 (60以上) (50～60)	2600±25 1150±25 (60以上) (50～60)	2105～2155 1175～1225 (60以上) (50～60)						
0.2±0.05 0.2±0.05 (常温)	0.2±0.05 0.2±0.05 (常温)	0.15～0.25 0.15～0.25 (常温)						
3.4 35 (40～50) (250)	3.4 35 (40～50) (250)	3.4 35 (40～50) (250)						
19.6～20.6 200～210	19.6～20.6 200～210	21.6～22.6 220～230						
10～15 駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	10～15 駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)	10～15 駆動プーリ～ オルタネータプーリ 98N(10kgf)						
15.6 (図 No. 1-1)	16.3 (図 No. 1-1)	16.5 (図 No. 1-1)						
8～13 クローラフ レーム中央 (図 No. 2-2)	8～13 クローラフ レーム中央 (図 No. 2-2)	20～25 クローラフ レーム中央 (図 No. 2-2)						
105～115 クローラフ レーム中央 (図 No. 2-3)	105～115 クローラフ レーム中央 (図 No. 2-3)	150～160 クローラフ レーム中央 (図 No. 2-3)						
136.5 1 リンク	136.5 1 リンク	157 1 リンク						
147～196 15～20 —	147～196 15～20 —	220～270 22.5～27.5 —						

ヤンマー

適用範囲		モデル名	Vi027-5B	Vi030-5B	VI030-6	Vi035-5B	Vi035-6
		適用号機	53316～	53607～	60501～	57001～	60501～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (min) (°C)	—	—	—	—
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ	mm	15	15	15	15
		アームシリンダ	mm	15	15	15	15
		バケットシリンダ	mm	9.0	9.0	9.0	9.0
		プレートシリンダ	mm	9.0	9.0	9.0	9.0
		(測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	(min) (°C)	(10) (50～60)	(10) (50～60)	(10) (50～60)	(10) (50～60)
		テスト荷重	kgf	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷
	作業機速度	ブーム上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	2.3	2.4	2.1	2.6
		アームシリンダ伸ばし 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	2.8	3.2	3.3	3.6
		バケットシリンダ伸ばし 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	22	2.1	2.0	2.5
		性能測定条件 荷重・設定モード等		(図 No. 4-1) 無負荷 ハイアイドル	(図 No. 4-1) 無負荷 ハイアイドル	(図 No. 4-1) 無負荷 ハイアイドル	(図 No. 4-1) 無負荷 ハイアイドル
		油圧回路 設定圧力	MPa kgf/cm ²	20.6 210	20.6 210	20.6 210	22.1 225
		性能測定条件 設定モード等 油温 エンジン回転数	(°C) min ⁻¹	(50～60) ハイアイドル	(50～60) ハイアイドル	(50～60) ハイアイドル	(50～60) ハイアイドル
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトターレース取付けボルトの締付けトルク	N・m	245	245	245	245
			kgf・m	25	25	25	25
		インナーレース取付けボルトの締付けトルク	N・m	245	245	245	245
			kgf・m	25	25	25	25
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m	118～147.1	118～147	118～147	117.7～147.1
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	kgf・m	12～15	12～15	12～15	12～15

Vi040-5B	Vi050-5B	Vi070-3A						
57001～	57001～	36001～						
検査基準値								
—	—	—						
15	15	6.0						
15	15	15						
9.0	9.0	9.0						
9.0	9.0	9.0						
(10) (50～60)	(10) (50～60)	(10) (50～60)						
(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷	(図 No. 3-1) 無負荷						
2.5	2.5	3.8						
(図 No. 4-1) 3.7 2.8	(図 No. 4-1) 3.7 2.8	(図 No. 4-1) 3.6 2.9						
(図 No. 4-2) 4.3 2.7	(図 No. 4-2) 4.3 2.7	(図 No. 4-2) 4.0 2.8						
(図 No. 4-3) 無負荷 ハイアイドル	(図 No. 4-3) 無負荷 ハイアイドル	(図 No. 4-3) 無負荷 ハイアイドル						
21.6 220	24.5 250	24.5 250						
(50～60) ハイアイドル	(50～60) ハイアイドル	(50～60) ハイアイドル						
265～304 27～31	265～304 27～31	264.8～304 27～31						
265～304 27～31	265～304 27～31	264.8～304 27～31						
260～294.2 27～31	260～294.2 26.5～30	166.7～205.9 17～21						
—	—	—						

走行性能測定姿勢	本機姿勢  90~105° (1) 定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：硬い平坦地 (4) 走行レバー：フルスロットル(履帯浮き側) (5) 片側の履帯を浮かせ、履帯の一枚所にマークを付け、走行レバーフルスロットル(履帯浮き側)で1回転以上空転後3回転の所要時間を測定する。 (図 No. 1-1)	本機姿勢  (1) エンジンフル (2) 作動油温：45~55℃ (3) 履帯を片側ずつ持ち上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間を測定する。 (図 No. 1-2)
ゴム履帯の張り（たわみ量）測定方法	履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マークをトラックフレーム上部の中央位置になる状態でクローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。 A：ゴムクローラ内周面の△マーク位置を示す  調整ボルト トラックローラー H ゴムクローラ (図 No. 2-1)	履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印位置を示す A：ゴムクローラ内周面の△マーク及びM印位置を示す  ゴムキャップ A アイドル ニップル/バルブ トラックローラー H ゴムクローラ (図 No. 2-2)
鉄履帯の張り（たわみ量）測定方法	履帯を浮かせ、トラックフレーム中央下部からシュブプレート上面とのすき間を測定する。  トラックフレーム 下部面からシュブプレート上面 (図 No. 2-3)	履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。  (図 No. 2-4)

作業機自然降下量及び各シリンダの自然伸縮量測定姿勢	 空荷 ブーム下面と平行 (1) エンジン停止 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 上記の本機姿勢で60分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。 (4) ブレードの自然降下量は最大上げ位置より1時間のシリンダロッド縮み量を測定する。 (図 No. 3-1)	 (1) 上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量及びバケットティース先端の降下量を測定する。 (2) 水平・平坦地 (3) バケット：定格負荷 (4) レバー中立 (5) エンジン停止 (6) 作動油温：45~55℃ (7) セッティング直後に測定開始 (8) 5分毎に降下量を測定し、15分にて判定する。 (図 No. 3-2)
作業機速度測定姿勢	ブーム上げ  空荷 (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：平坦地 (図 No. 4-1)	アームシリンダ伸ばし及び縮め  空荷 (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：硬い平坦地 (図 No. 4-2)
	バケットシリンダ伸ばし及び縮め  空荷 (1) エンジン定格回転 (2) 作動油温：50~60℃ (3) 場所：平坦地 (図 No. 4-3)	

ヤンマー

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		B3-5	B3-5B	B3-6	B3-6A	B4-6
		適用号機		50501～	55001～	60501～	62001～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	33.9	33.9	35	35	35

適用範囲		モデル名		B4-6A	B6-3	B6-3A	B6-5	B6-6
		適用号機		56001～	30501～	36001～	50501～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	35	31	31	36	38

適用範囲		モデル名		B6-6A	B7-3	B7-5	B7-5A	B7-5B
		適用号機		62001～	30501～	50501～	50501～	59603～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	38	33	36	36	36

適用範囲		モデル名		VI020-3	VI027-3	VI027-3B	VI027-5	VI027-5B
		適用号機		30501～	30501～	35001～	50501～	53316～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	39	37	37	35	35

適用範囲		モデル名		VI030-3	VI030-3B	VI030-5	VI030-5B	VI030-6
		適用号機		30501～	35001～	50501～	53607～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	32	32	35	35	48

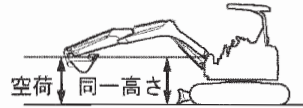
適用範囲		モデル名		VI035-3	VI035-3B	VI035-5	VI035-5B	VI035-6
		適用号機		30501～	35001～	35001～	57001～	60501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	34	34	34	34	52

適用範囲		モデル名		VI040-1	VI040-2	VI040-2A	VI040-3	VI040-5
		適用号機		10501～	20501～	25501～	30501～	50501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	37	35.5	35.5	35.5	31.5

適用範囲		モデル名		VI040-5B	VI050-1	VI050-2	VI050-2A	VI050-3
		適用号機		57001～	10501～	20501～	25501～	30501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	31.5	34	34	34	34

適用範囲		モデル名		VI050-5	VI050-5B	VI070	VI070-2	VI070-3
		適用号機		50501～	57001～	00705～	20501～	30501～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	31.5	31.5	36	36	36

適用範囲		モデル名		VI070-3A	SV100-1			
		適用号機		36001～	10501～			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
装 伝 動 置 達 力	クレーン 時の旋回 速度	5回転の所要時間 (図NO. 1)	秒	36	54			

検査条件	本機姿勢
	(1) エンジン定格回転 (2) 作動油温: 50～60℃ (3) 場所: 固い平坦地 (4) 空にて1回転空旋回後、5回転の所要時間  【図NO. 1】